

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他専門店〔携帯電話〕（従業員） 住宅販売会社（経営者）	・新機種の発売があり、ボーナス商戦で、旧機種の値崩れも予想されることから、良くなる。 ・住宅のローン控除は年内入居が条件なので、この2～3か月は契約、着工の増加が見込まれる。
	やや良くなる	商店街（代表者） 百貨店（売場主任） コンビニ（経営者） 一般レストラン（経営者） 通信会社（営業主任）	・市内の通りに面した所に、チェーンの食品スーパーがオープンした。営業時間が深夜24時までということで、集客が良く、商店街を歩く客が増える可能性が高い。 ・6月も全店企画の催事の計画があり、相当の動員力がある。7月に入ると中元がメインのセールに入り、多数の来客が見込まれる。 ・地域にある大手の機械メーカーでは外国向けの商品が動き出し、従業員の募集を行っているので、いくらか上向く。 ・新幹線駅周辺の大型チェーン等に客は流れている。一方で地域密着の既存店として、専門店の味が見直され、戻ってくる客もいるので、売上が回復してきている。 ・インターネットの訴求をしっかりと行えば、ある程度の加入獲得は見込まれる。
	変わらない	商店街（代表者） 商店街（代表者） 一般小売店〔精肉〕（経営者） スーパー（店長） スーパー（統括） コンビニ（経営者） 衣料品専門店（経営者） 衣料品専門店（店長） 乗用車販売店（販売担当） 高級レストラン（店長） 旅行代理店（従業員） 通信会社（社員） 観光名所（職員） 遊園地（職員） 競輪場（職員） その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・消費者の財布のひもは固く、商品は売れそうにもない。いくらイベントがあっても人が出てきても、期待を持ってない。 ・7～8月に来客数が増加するような夏のイベントを行って、挽回したい。 ・大手銀行の落込みのニュースが影響しているのか、客が消費に控え目な状況は今後も続く。 ・食料品は、客単価の落ち込み以外は点数、来客数ともに順調である。衣料品、住居関連の商品では買い控えがみられ、無駄な買物が減ってきており、来客数、客単価ともにダウンしている。この傾向は2～3か月は続く。 ・大手銀行の3兆円に上る赤字決算の発表、県内のペアゼロ企業の増加、ボーナス削減予測など、消費マインドに負の影響を与える要素ばかりがクローズアップされ、消費者の財布のひもは固くなる一方である。相変わらずのデフレ基調から、商品仕入れ価格は低下しており、店頭小売価格も更に低くなる見通しである。 ・7月からたばこの値上げが実施されるが、6月の駆け込み、まとめ買いは期待できない。ビール、ドリンクは7月の天候に大きく左右されるが、ビールから発泡酒へのシフトが更に進む見込みで、ほとんど変わらない。 ・周辺の工場の給料が上がらず、リストラなどで来客数が減少している。 ・SARSの影響で海外商品が減り、国内生産商品の需要が増えて、国内生産業の景気も良くなる。商品単価もやや上がるが、店舗数が飽和状態にあるので、総じて変わらない。 ・新車の売行きが極端に悪く、高額車両は全く売れない。中古車、安い単価の車の売行きは依然として順調であるが、本当に景気が良くなるのは、新車がある程度の台数売れるように回復してからである。 ・長引く不況に加えて、飲酒運転の罰則強化や酒類の増税などで、消費者の購買意欲は低く、外食自体を控える傾向が続く。 ・SARSの問題が、依然としてアジア方面の旅行の販売に影響を与えている。夏休みを控え国内旅行の販売に力を入れているが、予約状況が鈍い。 ・第三世代携帯電話についても、一時期の在庫不足の状況は解消され、販売台数は落ち着いている。 ・旅館、ホテル、レストラン関係で、キャンペーン等を行っているところや、安価なところはある程度の実績を上げられるが、その他は例年を下回る。 ・SARS関連等、引き続きレジャーに対する消費意欲は盛り上がり上がらない。 ・現在の経済状況の中では、公営競技等につき込むお金はなかなか回らない。 ・顧客の財布のひもは依然として固く、近い将来に修理、整備が必要な箇所があると説明しても、故障してから直すという客が多い。

	住宅販売会社（経営者）	・不動産の価格下落が進んでおり、銀行の融資も良くならない。経済の活性化が進まず、不動産物件は動かない。良いことは一つもない。
やや悪くなる	百貨店（販売促進担当）	・SARS問題の影響が多方面に出ている。
	百貨店（販売促進担当）	・消費回復の兆しはない。ボーナスの減額などで、消費はより一層冷え込む。
	スーパー（経営者）	・社会保険料の値上げ、酒、たばこの増税が売上には大きく影響してくる。
	一般レストラン（業務担当）	・6～8月分の宴会予約数が、前年を20%程度下回っている。
	観光型ホテル（スタッフ）	・婚礼が前年度より減少している。
	旅行代理店（経営者）	・SARS問題で、これからも受注は弱含みである。それに関連して、仕入れ関係も非常に悪くなってきている。
	旅行代理店（経営者）	・SARSの問題でこれからのいろいろ影響が出てくる。ただし、年配者を中心にお金はあるので、夏ごろまでにこの問題が解決すれば、あちこちに出かけたり、物を買うようになり徐々に上向く。まだ拡大が続くようであれば、先行きは悪くなるので心配である。
	旅行代理店（従業員）	・SARSの影響から、夏休み企画への申込みが進まない。
	タクシー運転手	・中元セール等があっても消費者の財布のひもは緩まないの で、さほど景気がよくなるとは思えない。
	タクシー運転手	・仕事は減少しているのに、毎週のように新しい仲間が増えて困っている。2種免許を取るための自動車学校も、予約で入校まで半年待ちで、他に仕事がない証拠である。
	ゴルフ場（支配人）	・県外来場者が激減している。道交法強化による対策も含め、県外来場者に対して、自家用バスやバス会社と提携してのコンペの送迎を行っているため、固定費が増加している。また、周辺の大手IT企業でリストラが強化されており、今後はやや悪くなる。
	ゴルフ場（副支配人）	・大手銀行の大幅な赤字決算の影響で、各企業の資金量、設備投資が抑えられている。勤労者の可処分所得の増加が見込めないため、ゴルフ場の来客数が増加する可能性は少ない。これから梅雨で天候が不安定になるので、取り巻く環境は厳しい。予約状況も前年と比べて落ち込んでいる。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・各企業ともかなり厳しい状況に追い詰められている。手形等も落とせないとこが出てきている。
住宅販売会社（経営者）	・地元企業に景気回復の兆しはなく、一部の優良企業社員を除いて、住宅用の土地購入に結びつかない。建設会社をはじめ倒産企業が増加しており、今後はやや悪くなる。	
悪くなる	スーパー（経営企画担当）	・5月に開店した大型スーパーに対抗し、既存の大型、中堅スーパーがチラシを出し、激戦になるので影響を受ける。
	コンビニ（店長）	・競合スーパーの営業時間が、今までは夜10時までであったが、6月以降は12時までとなるので、ますます悪くなる。
	衣料品専門店（販売担当）	・現在、来客数がかなり減少しているが、2か月後にシネマコンプレックスもある大型ショッピングセンターがオープンする予定で、今後更に来客数が減少し、景気は悪くなる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響で外国人が来なくなっていることもあり、3か月先までの予約状況は前年より1,500名前後少なくなっている。新しく進出してきた市内のホテルでも稼働率が上がらないとのことである。
	旅行代理店（営業・管理担当）	・SARSの終息がはっきりしないことと、県の土木建築業の入札基準がものすごく厳しくなっていることから悪くなる。
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者） 輸送用機械器具製造業（総務担当）
変わらない	食料品製造業（営業統括）	・今年に入ってから、家族連れの工場見学者も激減しており、売上単価も低下傾向にある。業界全体にこの低迷状態はしばらく続く。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・忙しい時期は一時的なもので、翌月の状況は全く予測がつかない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・公共工事が少なくなり、民間の設備投資も非常に少なく、今後2、3か月先も上昇する気配はない。

		輸送用機械器具製造業（経営者）	・安く、割に合わない仕事はあるが、儲かる仕事はあまりない。品質にはうるさく、これ以上のコストダウンは出来ないのに、大会社からコストダウンの要請があり、価格破壊で厳しい。
		建設業（経営者）	・受注は依然として増える見通しはない。
		経営コンサルタント	・企業間取引では相手先を絞り込む選別がまだ進行中である。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・情報化投資意欲は感じられるが、先行き不透明感から決断が鈍く、成約までの時間のずれ、システム範囲の絞込みがある。価格の低下等、仕事量の減少傾向は、今後も続く。
	やや悪くなる	化学工業（総務担当）	・大手ユーザーに対して、量の確保のためにやむを得ず販売価格を下げるので、利益が大幅に圧迫される。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	・急速に落ち込むようなことはないが、2～3か月先に立上げる新規案件の動きも鈍くなってきており、先にずれ込む。従来品の伸びも期待できない。
		輸送業（営業担当）	・SARS問題で、荷主の中国での工場生産、輸入量が減少するので、今後も落ち込みそうである。
		金融業（経営企画担当）	・引き続きSARSの景気への影響が予想される。特に、観光地は夏場の観光シーズンを迎えるので、少なからず影響がある。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・量販店の折込地域縮小の動きが収束しない上に、今まで折り込んでいた曜日を変更するなどの模索も続いている。もう限界にある価格を更に下げる競争になっている。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・企業が広告の効果を上げるため、広告に対し総合的に取り組むようになっている。そのため、コマーシャルの作成費等がかさみ、利益は減少傾向にある。
	悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・海外生産による空洞化は今後も進む。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新年度に入っても、相変わらず仕事量が少なく、新機種がない。従来機種も、じり貧状態が続いている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・SARSの影響で香港、中国へ出張ができず、海外物の新商品の仕入れが難しくなっている。
		建設業（総務担当）	・具体的な受注案件も、延期が決まり、再度具体化するのが心配である。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・派遣需要が高まる傾向はしばらく持続する。最近では好況といわれるIT関連等だけではなく、幅広い業種から要請があるので、単価は前年より低い水準であるものの、売上は増加する。
		職業安定所（職員）	・有効求職者数が減少傾向にあり、有効求人が増加傾向にある。就職数も着実に伸びてきている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・求人のチラシ等はかなり出ているが、人選が厳しく求職者があふれている。夏物商戦の販売人員等はやや伸びている。住宅関連では、修繕、新築が目立ち、資材の動きも増えているが、人員増はない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・10月10日にオープン予定のショッピングモールへの募集がまもなくかかる。約1,400～1,500名の募集規模であるので、雇用の動きが出てくる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・景気が低迷している中、地元では大きな建設会社が倒産している。その関連企業を含めると多くの社員がおり、再就職は非常に厳しい。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・世界的なSARSの問題、日本の大手銀行等の問題は、まだ根が深いので、この何か月では変わらない。
		職業安定所（職員）	・有効求職者数が、1年8か月連続で増加している。また、一部の事業所の事業縮小の情報が入ってきている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・決算の良かった製造業では、新卒を中心として採用にやや積極的になってきている。一方で次年度も赤字が予想される企業では、採用ゼロを維持し、直近の受注は派遣、請負で対応する動きが顕著である。建設業では最も受注が落ち込む冬場をベースとして、繁忙期があれば、一時雇用で対応するという企業が目立つ。
		やや悪くなる	職業安定所（職員）

	学校 [短期大学] (就職担当)	・来春卒業生対象の合同就職面接会では、参加企業は129社と前年の約70%であった。求人内容も設計、情報処理など技術職や、専門的知識を要する営業職が目立ち、事務職、販売職は少ない。全体で求人数は前年の60%程度である。
悪くなる	-	-